

被子植物 単子葉類

被子植物 単子葉類

イネ科

裸子植物のなかま

種子でふえない植物のなかま

被子植物 単子葉類

被子植物 単子葉類

イネ科

裸子植物のなかま

種子でふえない植物のなかま

# ススキ

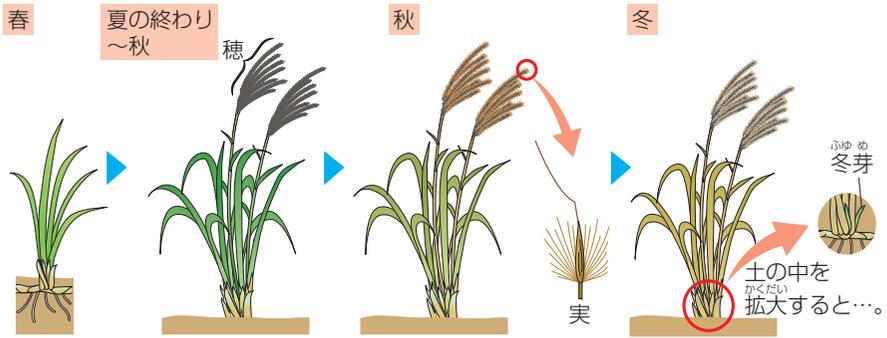


ススキは、草むらなどに生えていて、(1)になると白くふさふさした(2)をつけているのが見られます。(3)の1つです。ススキは「尾花」ともよべれます。



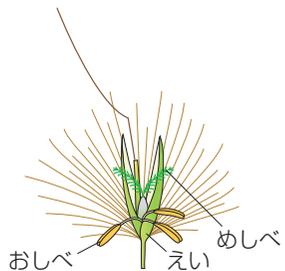
## 成長のようす

ススキは(4)です。(5)になると、冬の間かれずに生きていた部分から芽が出て成長します。(6)の終わりから(7)に花がさきます。(8)には子ぼうが成長し実ができます。冬になると、地上に出ている部分はかれますが、土の中の根やくきは生きていて、冬ごしします。



## 花のつくり

ススキの花は、花びらやがくをもたない(9)です。花びらやがくのかわりに「えい」があります。ススキの花はくきの先にたくさん集まり、(10)をつくっています。



## 受粉の仕方

ススキの花は、風によって花粉が運ばれる(11)です。

# エノコログサ



エノコログサは、道ばたや草むらなどいろいろな場所に生えています。「ねこじゃらし」ともよべれます。

エノコログサは(12)で、(13)に種子が発芽すると成長し、夏には(14)をつくります。夏から秋にかけて花をさかせたあと、冬になるとかれます。



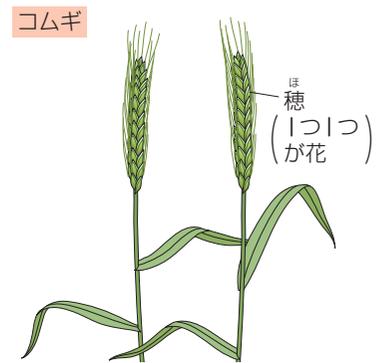
# ムギ



ムギには、コムギやオオムギなどがあります。種子には(15)があり、発芽のための養分として(16)がたくわえられています。(17)の部分をひいて粉にしたものが食用とされています。

コムギの粉は「小麦粉」として、パンやめん類、おかしなどのさまざまな食品の材料になっています。

オオムギは、しょうゆやみそ、ビールの原料になります。



## +プラスα

コムギは、秋に種子をまいて春から夏にかけて収穫(18)する場合と、春に種子をまいて夏から秋にかけて収穫(19)する場合があります。

# タケ



タケは、若い(18)が野菜として食用とされています。これがタケノコです。また、タケのくきはかごなどいろいろなものの材料として利用されています。



## + プラスワン

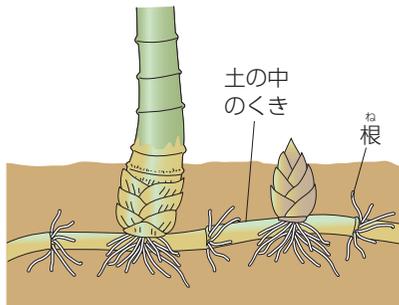
タケは、正月に家の門にかざる門松や、七夕かざりなどに使われます。なお、七夕かざりには、タケに近いなかまであるササが使われることもあります。



## 成長のようす



タケは、土の中の(19)に養分をたくわえます。そのくきから、(20)になると新しい芽が出て成長します。(21)の終わりごろ、タケの葉はかれます。



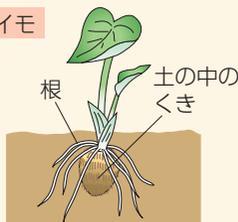
## + プラスワン

タケの花は、数十年に1度だけ咲きます。タケは、花をさかせるとうがてかれます。

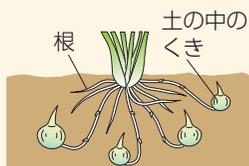
## + プラスワン

タケのように、土の中のくきに養分をたくわえている植物には、ジャガイモやハス、サトイモ、クワイなどがあります。

### サトイモ



### クワイ



# チューリップ



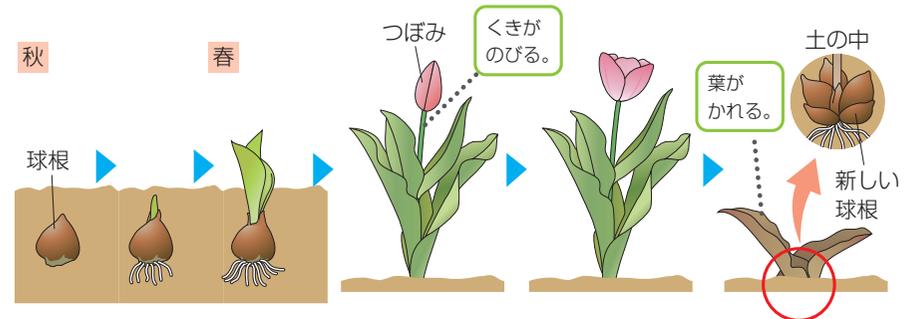
チューリップは、庭や学校の花だなどに植えられており、(22)になると赤色や黄色、ピンク色などの花をさかせているのが見られます。チューリップはふつう、(23)でふえます。



## 成長のようす



チューリップは(24)に球根を植えると(25)のすがたで冬ごしし、(26)になると発芽して成長します。やがて高くのびたくきの先に花をさかせます。そのあと葉はかれますが、土の中に新しい球根をつくり、(27)で冬ごしします。



## 花のつくり

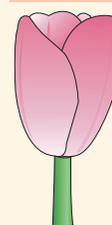


チューリップの花は、花びらが1枚1枚分かれます。

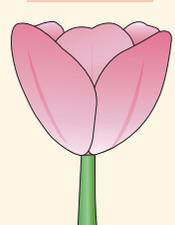
## + プラスワン

チューリップの花は、気温が20℃くらいより高くなると開き、それより低い温度では閉じます。

### 寒いとき



### 気温20℃



気温が高くなると...